

日頃のご精勤に心から感謝申し上げます。

現在、ゆにてい日和が休刊しており、ご迷惑をおかけしておりますが、今回はこのような形で皆様に社長レターをお届けさせていただきます。

本日、多くの皆様のお支えによって私どもユニティガードシステムは、創業56周年を迎えることが出来ました。心から感謝申し上げます。この困難な時期にありながら、毎日お仕事をいただけること、本当にありがたく思っております。ところで、私が弊社に入ったのは2013年4月ですから、ようやく7年と10ヶ月になりました。当時から今までのこと、感謝の気持ちをこめて、少しご紹介させていただきます。

2013年の当時、弊社はかなり厳しい経営状況にありました。

しかし、元々経営学者でもあった私は「自分なら2、3年でなんとか出来るだろう」と高を括っての入社でした。アイデアやビジョンを描くことは得意だと思っていたこともあって、いろいろな改革にすぐ着手しました。いくつかの新規事業にも取り組みました。

しかし、なかなか効果は現れず、3年が経った頃、会社はさらに厳しい状況に陥ってしまいました。当時のある事件をきっかけに「これで倒産しなかつたら奇跡だな…」と毎日のように思っていたことを覚えています。

心理的に追い詰められ、酒量もドンドン増え、体調も最悪でした。もう道は無いとあきらめかかっていた時、私は恩師高橋佳子先生と出会うことになりました。

高橋佳子先生は人間を『永遠の生命＝魂』として捉え、内(心)と外(現実)をつなぐ極めて実践的な哲学を集成され、多くの経営者さん達を指導されています。

道は無いとあきらめかかっていた私でしたが、そう思う心に

原因があったこと、心が変われば現実が変わることを一つ一つ丁寧に教えていただきました。心と現実のつながりを感じはじめると、失いかけていた現実に対する主導権が取り戻され、

思いがけないところから協力者も現れ、道が拓かれ、会社は見違えるように変化しはじめたのです。あれほど飲んでいたお酒もやめることができました。

あれから更に数年が経過して、おかげさまで本日を迎えるに至っております。この間、支えてくださった多くの皆様には感謝しかありません。何より高橋先生には奇跡のような人生の転換をいただき、言葉に尽くせない感謝の気持ちでいっぱいです。

長くなってしまいましたが、最後にひとつご紹介させていただきます。高橋先生の新刊『ゴールデンパス 絶体絶命の中に開かれる奇跡の道(三宝出版)』が今月末に発刊されます。なんと、その中に私の取り組みもご紹介いただいています。

私の取り組みに関する記述部分に関して言えば、全く脚色無し、全て事実です。タイトル通り、絶対絶命の中に開かれた奇跡の道でした。来月以降になりますが、ご希望の方には私から感謝の気持ちを込めてプレゼントさせていただきます。よろしければ社長ホットラインまでご連絡ください。

長文にお付き合いくださり、ありがとうございます。これからも更に素晴らしい会社を目指してがんばります。皆様どうぞよろしくお願いいたします。



2021年1月28日

代表取締役社長 八木 陽一郎